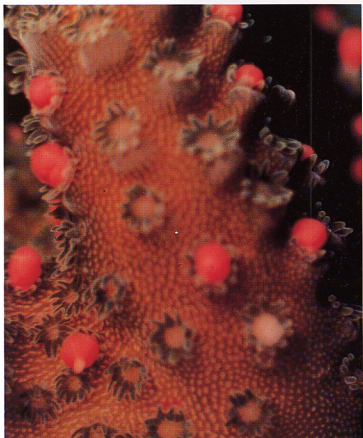


サンゴの産卵

多くのサンゴは、年1回、晩春から夏にかけての満月あるいは新月の晩前後に、一斉に産卵を行なう。このタイプのサンゴのほとんどは、卵子と精子が包みこまれた袋(バンドル)を一斉に放出して、水面でこれが割れて受精する(本号、荒井ほか参照)。

1. (右)ノウサンゴの産卵(アデレード大学Heyward博士撮影、阿嘉島臨海研究所提供)。



2. (左)ミドリイシの産卵(Heyward撮影、阿嘉島臨海研究所提供)。

3. (右中)ミドリイシの産卵(海洋バイオテクノロジー研究所、丸山撮影)。

4. (右下)水面に浮かぶハイマツミドリイシの卵子-精子バンドル。バンドルが壊れ、中から数個の卵子があらわれ、重い精子が煙のようになって沈んでいる(丸山撮影)。